

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	学外研修		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・感応評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
<p>ロボット分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、社会人基礎力を身に付けることを目的とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・学外研修事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	学外研修		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・感応評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
<p>ロボット分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、社会人基礎力を身に付けることを目的とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・学外研修事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	学外研修		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・感応評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
<p>ロボット分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、社会人基礎力を身に付けることを目的とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・学外研修事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	学外研修		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・感応評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
<p>ロボット分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、社会人基礎力を身に付けることを目的とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・学外研修事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
	実習形式	各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
	実習形式	各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
	実習形式	各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
	実習形式	各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
	実習形式	各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	学外研修		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・感応評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
<p>ロボット分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、社会人基礎力を身に付けることを目的とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・学外研修事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第61回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第62回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第63回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第64回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			
第65回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第66回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第67回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第68回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第69回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第70回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第71回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第72回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第73回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第74回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第75回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	学外研修		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・感応評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
<p>ロボット分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、社会人基礎力を身に付けることを目的とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・学外研修事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第76回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第77回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第78回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第79回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			
第80回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第81回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第82回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第83回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第84回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第85回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第86回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第87回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第88回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第89回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第90回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	学外研修		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・感応評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
<p>ロボット分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、社会人基礎力を身に付けることを目的とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・学外研修事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第91回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第92回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第93回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第94回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			
第95回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第96回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第97回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第98回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第99回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第100回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第101回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第102回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第103回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第104回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第105回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	学外研修		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・感応評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
<p>ロボット分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、社会人基礎力を身に付けることを目的とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・学外研修事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第106回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第107回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第108回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習			
第109回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			
第110回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第111回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第112回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第113回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第114回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第115回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第116回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による実験および学習		
第117回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第118回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第119回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		
第120回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習		